

教育 かしま

臨時号

発行日
平成28年11月 1日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 教育総務課
Tel.0299-82-2911 (内線532)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。



新しい教育委員を紹介します



平成28年10月1日付けで原キミ氏、大崎千帆氏の2名が教育委員会委員（教育委員）に就任しました。委員任期は、平成32年9月30日までとなります。



原 キミ 委員

略歴 元県立高等学校校長



大崎 千帆 委員

略歴 大同東小学校PTA役員

教育長及び教育委員

| 職名 | 氏名 |
|------------------|-------------------|
| 教育長 | かわむら ひとし 川村 等 |
| 委員 (教育長職務代理者) | おざわ かずお 小澤 和夫 |
| 委員 | しがらき あきら 信楽 哲 |
| 委員 | おかみ ぶみひこ 岡見 文彦 |
| 委員 | はら きみ 原 キミ |
| 委員 | おおさき ちほ 大崎 千帆 |



鹿島アントラーズ 鹿嶋市小学校全校応援事業が行われました



10月1日、県立カシマサッカースタジアムで行われた鹿島アントラーズVS大宮アルディージャ戦にあわせてホームタウンイベント「鹿嶋の日」が行われ、「鹿嶋市小学校全校応援事業」として鹿嶋市の小学校全校の児童約3,500人と、観戦を希望する中学生約250人が鹿島アントラーズの応援に駆けつけました。当日は小雨が降る中での観戦となりましたが、みんな一生懸命に選手を応援しました。

スタジアムのコンコースから応援席へ向かう児童 ▶



平成28年度 教育懇談会を開催します

市民の皆さんから市の教育行政に関するご意見を伺うため、教育懇談会を開催します。本年度は、現在市が進めている幼稚園・保育園から小学校中学校への連続性を重視した教育や、地域と学校の連携など、テーマを絞って実施します。

子育て中の保護者、地域の方、教育に関心のある方はお気軽に参加ください。



★開催日時：平成28年11月29日（火） 10:00～12:00
★会場：高松公民館（高松まちづくりセンター）

★対象：市内在住の方
★出席者：教育長、教育委員会教育委員

<問合せ>教育総務課 Tel. 0299-82-2911 (内線531)

平成28年度

全国学力・学習状況調査〈鹿嶋市の結果について〉



〈問合せ〉教育指導課 Tel: 0299-82-2911 (内線526)

平成28年4月に市内の小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果概要についてお知らせします。

本調査は、全国及び市の児童生徒の学力や生活の様子を知り、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるうえで大いに参考となるものです。

本市の結果は以下のとおりですが、このうち「1 学力について」の項目を見ると、小中学校共に3教科において全国平均を上回りました。特に国語ABについては、全国平均を大きく上回る結果となり、国語の基礎的な知識とそれを活用する力が大きく向上しているといえます。

本市では、平成26年度より各校で授業改善プロジェクトを実施しており、児童生徒が主体的・協働的に学び合う授業を展開していますが、その成果の一端が見られるものとなりました。市では今後さらに各校と連携し、文科省も提唱するこの学習方法を推進していきます。

学力調査の概要

- 実施日……平成28年4月19日（火）実施
- 対象……市立小学校12校（小学校6年生）、中学校5校（中学校3年生）
- 実施教科…国語、算数・数学
- その他……児童生徒に対して生活習慣や学習環境等に関する調査も実施

1 学力について

国語A、算数・数学A：主として【知識】に関する問題
 国語B、算数・数学B：主として【活用】に関する問題

3教科において全国平均を上回りました。また、算数Bはほぼ全国平均値でした。

国語は小中とも全て全国・県平均をも上回りました。茨城県中学国語ABは全国7位相当の水準です。

数学Aは全国平均に達しませんでした。他の3教科で全国平均を上回りました。

時代を先取り！
主体的・協働的な学習の実践

【小学校6年生】

| | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|----------|---------------|
| 国語A： | 全国平均を上回る | → 全国平均を大きく上回る |
| 国語B： | 全国平均を上回る | → 全国平均を大きく上回る |
| 算数A： | 全国平均を上回る | → 全国平均を上回る |
| 算数B： | 全国平均を上回る | → 全国平均値 |
| 理科： | 全国平均を上回る | → 今年度実施無し |

【中学校3年生】

| | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|----------|---------------|
| 国語A： | 全国平均を上回る | → 全国平均を大きく上回る |
| 国語B： | 全国平均を上回る | → 全国平均を大きく上回る |
| 数学A： | 全国平均を下回る | → 全国平均を下回る |
| 数学B： | 全国平均を下回る | → 全国平均を上回る |
| 理科： | 全国平均を上回る | → 今年度実施なし |

今年度、小学校と中学校の双方で合計正答率が全国平均正答率を超えました！

2 学習に関する意識調査について

※（ ）の数字は関連する表1の質問番号です。

○（48・49）90%以上の児童生徒が授業中に自分の考え表現していると回答しています。これは、学級内での話し合い活動が充実しているからだと考えられます。学習課題の解決に向けた「学びに向かう集団づくり」が十分なされていることが分かります。

- （50）児童生徒が自ら課題を見つけ、その課題の解決に向けての学習活動が実践されていることが分かります。本市の児童生徒の回答の数値と全国公立の数値と比べると、鹿嶋市授業改善プロジェクトを受けた各校の取り組みにより主体的・協働的な学習の充実の効果が表れていると考えられます。
- （53）小学校、中学校共に93%を超える回答から、市内各小中学校で実践されている授業において、小中学生が学習課題を明確に捉えることで目的意識を常にもって授業に臨むことができるようになってきていると考えます。
- （54）授業の終末において、学習の振り返りを十分に行っていると回答する小中学生が85%以上いました。学習に対する効果的な振り返りは、学習意欲や知的好奇心の喚起につながります。さらに、学習中に抱く新たな問いに対する探究心の誘発が期待できます。
- （61・63）国語の学習に対して「分かる」と回答している小学生が85%近くいるのに対して「好き」と回答する小学生は、70%を切っていました。中学生に関しては、質問に対して肯定的な回答が80%近くありました。いずれにしても、「好き」という意識は、「もっと学びたい、もっと調べたい」といった学習意欲の連鎖をもたらすので、小中学生の更なる興味関心の喚起及び継続の実現のために授業改善及び工夫が必要です。
- （71・73）算数・数学に関しては、小学生よりも中学生の回答のほうが、数値が下がってしまっています。「数学嫌い」や「数学離れ」を克服するための中学校数学における授業の更なる改善が必要です。

表1 〈主な質問項目に関する回答結果表〉

（単位：％）

| 質問番号 | 質問項目と内容 | 小学校6年生 | | 中学校3年生 | |
|------|---|--------|------|--------|------|
| | | 鹿嶋市 | 全国公立 | 鹿嶋市 | 全国公立 |
| 48 | 授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか | 92.3 | 85.1 | 91.4 | 84.1 |
| 49 | 授業で、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか | 91.0 | 83.4 | 93.7 | 77.8 |
| 50 | 授業で、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか | 86.5 | 75.7 | 85.6 | 69.3 |
| 53 | 授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか | 93.8 | 87.6 | 94.9 | 84.9 |
| 54 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか | 86.7 | 76.1 | 85.1 | 63.1 |
| 61 | 国語の勉強は好きですか | 68.7 | 58.3 | 79.7 | 59.8 |
| 63 | 国語の授業の内容はよく分かりますか | 84.7 | 80.7 | 87.5 | 74.1 |
| 71 | 算数・数学の勉強は好きですか | 72.3 | 66.0 | 61.9 | 56.0 |
| 73 | 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか | 84.1 | 80.2 | 72.6 | 69.4 |

3 児童生徒の生活習慣について

本は知恵の宝箱！
進んで取り組む予習と復習！

※（ ）の数字は関連する表2の質問番号です。

- （1,2,3）基本的な生活習慣の確立が、学校生活と家庭生活双方の充実につながります。また、学習意欲や体力、気力の向上に直結するものでもあります。小学校中学校ともに「早寝早起き朝ごはん」の励行の継続が重要であると考えます。
- （11, 12, 13, 14, 15, 17）「本は、心の栄養」という言葉があります。家庭での読書の時間が少ないことは大変残念です。また、学校以外での学習時間が少ないことも残念です。テレビ等の視聴時間やテレビゲームをする時間が多いことが原因であると考えられますが、平日と休日の1時間以上の家庭学習の実施率が同じことから、学校等から出された宿題のみの学習になっているとも思われます。家庭内で学習時間と読書時間を増やすため、家庭の大人からの声掛けも必要のようです。
- （21, 22）調査の結果から、与えられた課題でなければ学習に取り組めない児童生徒が多いことが分かります。小学生中学生の真の主体的な学習を求めるための手だてをさらに追究することが求められています。
- （23, 24）学校の予習に取り組んでいると考えている小中学生は50%を下回っています。また、学校の復習に取り組んでいると考えている小中学生は65%を下回っています。このことを解決するために、市内各小中学校では、鹿嶋市授業改善プロジェクトにおいて、児童生徒自らが学習課題と学習計画の設定を行っています。これから、どんな学習をするか見通しをもたせながら学習意欲を喚起することをねらいとしています。自らが見出した学習課題を解決するために、家庭でも学習したいと思える授業づくりに励むことが肝要です。



表2 <主な質問項目に関する回答結果表> (単位：%)

| 質問番号 | 質問項目と内容 | 小学校6年生 | | 中学校3年生 | |
|------|--|--------|------|--------|------|
| | | 鹿嶋市 | 全国公立 | 鹿嶋市 | 全国公立 |
| 1 | 朝食を毎日食べていますか | 95.1 | 95.5 | 94.1 | 93.3 |
| 2 | 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか | 80.7 | 80.1 | 77.6 | 75.2 |
| 3 | 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか | 91.8 | 90.8 | 94.5 | 92.3 |
| 11 | 平日、テレビやビデオ・DVD等視聴時間(2時間以上) | 59.3 | 57.1 | 53.1 | 48.7 |
| 12 | 平日、テレビゲームをする時間(2時間以上) | 30.4 | 29.7 | 38.3 | 34.9 |
| 13 | 平日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間(2時間以上) | 9.2 | 10.4 | 35.0 | 30.1 |
| 14 | 平日学校外で勉強をする時間(1時間以上) | 60.5 | 62.5 | 65.6 | 67.9 |
| 15 | 休日に勉強する時間(1時間以上) | 66.1 | 57.0 | 67.8 | 67.8 |
| 17 | 平日、学校外での読書時間(1時間以上) | 17.4 | 16.7 | 13.3 | 13.6 |
| 21 | 家で、自分で計画を立てて勉強していますか | 67.4 | 62.2 | 56.0 | 48.4 |
| 22 | 家で、学校の宿題をしていますか | 97.3 | 97.0 | 90.7 | 90.1 |
| 23 | 家で、学校の授業の予習をしていますか | 49.5 | 43.3 | 40.2 | 34.2 |
| 24 | 家で、学校の授業の復習をしていますか | 63.1 | 55.2 | 62.7 | 51.0 |

4 児童生徒の意識調査について



優しく控え目です!!!
でも心は情熱的です!!!

※ () の数字は関連する表3の質問番号です。

- (4, 7) 物事をやり抜き喜びを感じている小中学生が、共に全国平均を超えていました。このような成功体験は、今求められている「生きる力」の礎となるものであります。また、自分の考えや意見を発表することができる回答する小中学生が、全国の数値を超えていました。しかし、割合としては小中学生ともに60%以下となっていることから、自分自身に自信をもたせることが必要です。
- (6) 中学生の自尊感情の低さが見られます。謙遜の念から自分のよさを過小評価したりしていることも考えられますが、中学生の自尊感情をさらに高め、謙虚でありながらも自信をもって生活できるような環境づくりがさらに必要です。
- (8) 人の話を聞くことができると回答している小中学生が共に93%以上います。この話を聞く力から、自信をもって自分の考えや意見を伝えることのできる情報発信力へとつなげていきたいと考えます。
- (9) 将来に対する夢や希望をもっている児童生徒が多いことがわかります。しかし、将来の夢や目標について、小学生より中学生の数値の方が低いです。このことから、中学校において、自己肯定感及び自己有用感を高めるキャリア教育の充実が必要で。
- (34) 小中学生と地域とのつながりが希薄となっています。地域とのつながりを深める働きかけは必要です。そのために、本市では学校教育と社会教育との連携の強化に努めています。
- (39) 規範意識をもっている小中学生が多いことがわかります。今後ともきまりの大切さを理解できるように児童生徒に声をかけていくことが大切です。
- (41, 42) 人の気持ちがわかることの大切さやいじめがあってはいけないことを十分理解している小中学生が多いことがわかります。しかしながら、この2つの質問事項の通過率は100%であるべきだと捉えていかなければならないと考えます。
- (43) 自己有用感をもっている小中学生が多いことがわかります。小中学生には、人と人のかかわりを重視した体験活動を計画的により多く実践していくことが望まれます。そのために、家庭・学校・地域が一体となって、世のため人のために貢献しようとする鹿嶋っ子の育成に大人が励むことが重要です。

表3 <主な質問項目に関する回答結果表> (単位：%)

| 質問番号 | 質問項目と内容 | 小学校6年生 | | 中学校3年生 | |
|------|-----------------------------------|--------|------|--------|------|
| | | 鹿嶋市 | 全国公立 | 鹿嶋市 | 全国公立 |
| 4 | ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか | 95.5 | 94.4 | 95.0 | 94.3 |
| 6 | 自分には、よいところがあると思いますか | 79.0 | 76.3 | 65.1 | 69.3 |
| 7 | 友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか | 57.6 | 51.7 | 50.6 | 50.2 |
| 8 | 友だちと話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか | 94.2 | 92.7 | 93.9 | 93.0 |
| 9 | 将来の夢や目標を持っていますか | 84.8 | 85.3 | 75.8 | 71.1 |
| 34 | 今住んでいる地域の行事に参加していますか | 67.4 | 67.9 | 48.4 | 45.2 |
| 39 | 学校のきまり(規則)を守っていますか | 93.8 | 91.5 | 94.7 | 94.7 |
| 41 | 人が困っているときは、進んで助けていますか | 86.7 | 84.6 | 87.9 | 83.8 |
| 42 | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか | 97.6 | 96.6 | 96.1 | 93.6 |
| 43 | 人の役に立つ人間になりたいと思いますか | 95.5 | 93.8 | 94.9 | 92.8 |